



TITLE:

<記事>4.水族館観覧者(月別集計)

AUTHOR(S):

CITATION:

<記事>4.水族館観覧者(月別集計). 瀬戸臨海実験所年報 2012, 25: 10-10

ISSUE DATE:

2012-07-30

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/179270>

RIGHT:

4. 水族館観覧者（月別集計）

□平成 23 年度（2011 年 4 月 1 日-2012 年 3 月 31 日）

月	有 料						無料	前年度 有 料
	個人		団体		計			
	大人	小人	大人	小人	名	円	名	名
4	3,364	289	178	178	3,875	1,744,270	481	3,619
5	4,989	689	21	21	5,776	2,606,200	0	5,312
6	3,173	297	13	13	3,620	1,681,600	0	3,510
7	4,373	326	21	21	4,820	2,268,620	685	5,509
8	8,861	0	0	0	8,987	4,487,200	3,391	9,191
9	3,586	339	123	123	4,216	1,913,270	0	4,843
10	3,322	392	601	601	4,584	1,861,230	0	5,012
11	2,764	307	256	256	3,411	1,468,930	0	3,851
12	3,066	139	13	13	3,226	1,552,670	505	3,274
1	4,250	163	0	0	4,413	2,142,930	695	4,790
2	3,285	311	71	71	3,713	1,701,670	0	4,109
3	6,140	381	127	127	6,861	3,215,380	899	4,530
計	51,173	3,633	1,272	1,424	57,502	26,643,970	6,656	57,550

上記の集計には、臨海実習等実験所を利用した学生や教官、ならびに外来研究者等の来訪者は含まれていない。

5. 研究報告抄録

瀬戸臨海実験所研究報告 (Publications of the Seto Marine Biological Laboratory) の Special Publication Series 第 11 巻が、2011 年 11 月 15 日に発行された。掲載論文 1 篇、総頁数 311 頁。

論文 1. Ohgaki, S., Komemoto, K. & Funayama, N. 2011. A record of the intertidal malacofauna of cape Bansho, Wakayama, Japan, from 1985 to 2010. [大垣俊一・米本憲市・舩山展孝: 和歌山県番所崎の潮間帯における 1985 年から 2010 年の軟体動物相の記録]. 和歌山県田辺湾の番所崎海岸 4,416 m² の岩盤上で、1985—2010 年の 25 年間、貝類相の調査を行い記録集とした。調査地の環境条件、出現した 242 種の全軟体動物のリストと各種の属性、年ごとの出現頻度、主要 100 種の経年分布変動図、及び結果の信頼度を検証するための方法検討調査の結果を示した。一般的傾向としては、1. 海側から陸側にかけて貝類相の特徴から 4 地帯が区別され、そのパターンは調査期間を通じて安定。2. 南方性、熱帯性の種数、累積分布範囲が期間中徐々に増加。3. 1997/98 年に貝類相全体として断絶が認められ、北太平洋生態系のレジーム・シフトのタイミングに同期。(1 - 311 頁)